令和6年度の事業報告

()内は登録数や参加者数を示す。

進
ĺ

地域倫性のより一層の推進
①地区社会福祉協議会(地区社協)への支援(8地区
②ふれあいサロン活動団体への支援(登録23団体
③地区社協会長会議の開催
④地域の絆づくり講座の開催(計2回/延べ46名)
⑤ふらっとカフェの運営(計12回/延べ153名)
⑥シニアカフェの運営(計12回/延べ139名)
②向日市を巡ろう!スタンプラリー第3弾の実施(788名)
⑧第17回社協まつりの開催(約2,000名)
⑨ボッチャ大会の開催(60名)
⑩ 新規 親子で一緒にチャレンジ料理教室の開催…(親子14組32名
⑪福祉団体への助成(5団体
⑩向日市敬老会の開催(向日市との共催事業/835名
③命を守る「防災ボトル」配布事業の実施(244名
⑭まごころ見守り定期便事業の実施(延べ831名
⑮地域サポートセンターむこうの運営
(利用者43名・地域サポーター25名
⑯向日市社協ボランティアセンターの運営
(登録個人50名/登録グループ30団体
⑰向日市社協ボランティアセンター運営委員会の開催
⑱向日市社協ボランティアセンター基金管理委員会の開催
⑩福祉教育・ボランティア学習プログラムの実施(計7回)
⑩点訳ボランティア養成講座の開催(計5回/5名)
②災害ボランティア養成講座の開催(計2回/47名)
② 新規 社協カレー食堂の開催(延べ317名)
② 新規 フードドライブの実施(204kg)
3 新規 フードパントリーの実施(延べ317名)
② 新規 緊急物資支援事業の実施
参新規 地域で取り組む孤独・孤立対策事業(映画鑑賞会)の開催
(320名
Pace Valle di l'accione
The same of the sa
9
The state of the s





②備えて安心!遺言と成年後見制度講座(40) {
③車いす貸出事業の実施	34
②石川県七尾市災害ボランティアセンターへの被災地支援の実施	施
(1名派	ξij
③介護予防出前講座の開催(計6回/85	5á
③地域健康塾の開催(計428回/延べ5,454	14
③聴こえの相談会の開催(24	14
③私たちの生きづらさミーティング〈オンライン〉の実施	
(計2回/3	1
③認知症サポーター養成講座の開催(計6回/187	74
③認知症サポーター・ステップアップセミナーの開催・(57	74
③認知症啓発にかかる講演会の開催(35)	5á
③認知症家族介護者交流会の開催(5	1
39認知症の本人と家族のつどい(認知症本人ミーティング)の実	施
(13	34
③認知症対応型カフェ事業(向日市社協カフェ「マリーず」)の運	Ż

2 地域包括ケアシステムの構築

②障がい者地域生活支援センターの運営(相談4,116件)
③生活困窮者自立支援制度における各事業の実施(相談1,422件)
④各種資金の貸付相談の実施(相談1,036件)
⑤生活支援(物資配布)事業の実施(1,500世帯)
⑥福祉サービス利用援助事業の実施
(支援時間数856時間/延べ322名)
⑦福祉相談事業の実施(相談3件)
⑧認知症地域支援事業の実施(相談197件)

①向日市中地域包括支援センターの運営……(相談4844件)

・(計48回/延べ422名)

3 質の高い介護保険事業の実施

①通所介護及び介護予防サービスの実施

- (開所日数304日/延べ9,831名) ②訪問介護及び介護予防サービスの実施

……(訪問時間数18,161時間/延べ2,611名) ③くらしサポートサービスの実施

(訪問時間数169時間/延べ104名		
④居宅サービス計画書の作成(2,160件)		
⑤要介護認定訪問調査の実施(28件)		
⑥障がい福祉サービスの実施…・(訪問時間数3,604時間/延べ360名)		
う計画相談及び障害児相談支援サービス利用計画の作成(280件)		
⑧介護予防支援等プランの作成(2,498件)		

⑧介護予防支援等プランの作成(2,498件)
4 > 法人の健全な運営
①理事会の開催(計3回)
②評議員会の開催(計2回)
③評議員選任・解任委員会の開催
④地域福祉推進委員会の開催
⑤監事会の開催(計 2 回)
⑥会員募集・寄付金等の受入れ

···(会費3,005,150円·寄付金1,015,561円)

選者については、発送をもってかえさせていた 送り先 〒617-0002 向日市寺戸町西野辺1-7 向日市福祉会館内

福祉パレット10月号

令和7年10月発行

①大豆を粉にした香ばしい粉を味付けし、餅にまぶし

- 障がい者地域

18,249,756

地域福祉推進

406,663,008

②被写体の明暗や色が反転した画像がつくられる写真 フィルム。○○フィルム

③事業の元手や経営のために使用される金銭 ④川の流れの河□に近い部分。上流、中流、○○○○ ⑥風によって運ばれた砂が堆積してできた丘状の地形 ⑧木を叩く鳥。強いくちばしで幹に穴をあける ⑨山手線の反時計回りのこと

⑪結婚式・入学式などの公式的な式典で、相手に対し て送るお祝いの言葉

⑭理科、数学の各分野に関する知識と技術を習得させ ることなどを目的とする教科 ⑯○○野古道、○○本県、白○○

⑩葬儀全般の主宰者 ⑫相手に対してものごとを知らせること

などに用いる道具

③国語、算数、理科、○○○○

⑬対立するどちらの側にも味方しないこと ⑤地面を掘ったり、土砂などをかき寄せたり するものと、土壌を掘り起こすもの ⊕○○○車に試しに乗ってみた

①臼とともに使い、主に穀物の脱穀や籾すり

⑤♪○○○○から船に乗って神戸についた

⑦重大で即座に対応しなければならないこ

⑱天地〇〇、辺見〇〇、夏木〇〇

応募方法 はがき又はFAXに、①こたえ ②氏名 ③住所 ④年齢 ⑤今回号で特に関心が あった記事(複数回答可)⑥「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解 クカイゴ」でした。図書カードプレゼントの当 者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

11月28日(金)まで

▶編集・発行:社会福祉法人 向日市社会福祉協議会 〒617-0002 京都府向日市寺戸町西野辺1-7

TEL.075-932-1960 FAX.075-933-4425 • URL: https://muko-shakyo.or.jp/ • E-mail: info@muko-shakyo.or.jp ◎広報誌「福祉パレット」は赤い羽根共同募金の配分金を財源として年3回(3月・7月・10月)発行しています。 向日市社協 検索

向日市社会福祉協議会からのお知らせ

また、向日市社協においても、

向日市共同募金委員会の事務局

として、向日市福祉会館(2階)

を設置し、義援金の受付を行って

様に、心からお見舞い申し上げます。鹿児島県共同募金会で

おります。集められた義援金は、鹿児島県共同募金会へ直接 送金し、被災者支援に役立てられますので、皆様の温かいご

令和6年度 向日市社会福祉協議会決算概要

103,520,530

は、被災者支援を目的に、義援金の募集が実施さ

支援とご協力をよろしくお願いします。

[お問い合わせ] 向日市共同募金委員会

積立資産取崩収入 33,858,890 収入 4,020,711

415,462,150

\\むくむく クロスワードパズル//

事務局:向日市社会福祉協議会 TEL.932-1960

福祉会館管理料

補助金·委託金

7,500,000

トカラ列島近海を震源とする あなたの福祉活動に助成金が活用できます! 地震災害義援金の募集について

歳末たすけあい募金の地域福祉活動団体助成の募集が始 まります。 令和7年トカラ列島近海を震源とする地震で被災された皆

> 福祉関係団体等が取り組む地域福祉の推進を目的とした 事業に対して、助成を行います。本会地域福祉推進課にて配 布する申請書類又は本会のホームページからダウンロード できる申請書類に必要事項を記入の上、募集期間内に本会地 域福祉推進課の窓口に提出してください。

配分額は、向日市共同募金委員会審査委員会を経て決定し ます。詳細は、本会のホームページをご覧ください。 [助成金申請期限] 令和7年11月12日(水)まで

[問い合わせ] 地域福祉推進課 TEL.932-1960 受付時間: 土日・祝日を除く午前9時から午後5時まで

善意のご寄付ありがとうございました

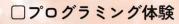
(令和7年4月18日~8月7日)

38,900 匿名

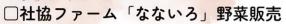
デイサービスセンター職員募集

未経験者歓迎でケアワーカーを募集します。週3日程度 時給1,310円~。シフト制で交通費支給、資格取得支援もあ り。見学も可能で、採用時期は相談に応じます。履歴書を提 出後、面接を行いますので、お気軽にお問い合わせください。 [問い合わせ] 向日市社協デイサービスセンター(採用担当者) 〒617-0002 向日市寺戸町西野辺1-7向日市福祉会館内 TEL.931-3294

受付時間:日祝を除く午前10時から午後5時まで



- □レーザー印刷でコースター作り
- □ビンゴゲーム大会
- □おもちゃの病院
- □ボランティアによる啓発



- □スーパーボールすくい
- □缶バッジ作り



10月号

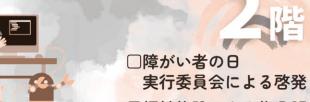
令和7年

お互いさまで支え合う 地域づくり

赤い羽根共同募金の一部を財源としています。

第

令和7年 11 月 16 日 (□) 正午~午後3時30分



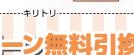
- □福祉施設による物品販売
- □集まれキッズへルパー

□オープニングセレモニー (京都西山高等学校吹奏楽部による演奏

□新聞紙エコバッグ作







第18回 社協まつり

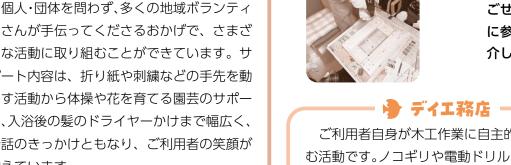
通所が楽しみになる!

ボランティアさんと

▶ ボランティアさん

ご利用者のつながり

個人・団体を問わず、多くの地域ボランティ アさんが手伝ってくださるおかげで、さまざ まな活動に取り組むことができています。サ ポート内容は、折り紙や刺繍などの手先を動 かす活動から体操や花を育てる園芸のサポー ト、入浴後の髪のドライヤーかけまで幅広く、 会話のきっかけともなり、ご利用者の笑顔が 増えています。





ご利用者自身が木工作業に自主的に取り組 む活動です。ノコギリや電動ドリルを使って、 浴室の下駄箱や本棚などを製作しています。 はじめてトンカチを触る方から建築業界出身 のご利用者まで、皆様で役割分担をして完成 させます。普段は控えめな方が率先して作業 するなど、ご利用者の新たな一面も見ること ができます。

参加する取り組み

向日市社協デイサービスセンターでは、ご利用者が前向きに、イキイキと過

ごせるよう、独自かつ多彩な活動を展開しています。今回は、ご利用者が自主的

に参加できる活動プログラムや、地域の ボランティアさんとの交流事例をご紹

介します。「人や社会とつながる」楽しさを通して、元気をチャージしましょう!

BIRTHD

😼 向日市社協はたらくデイ(園芸)

ご利用者自身が家庭菜園や園芸に自主的に 取り組む活動です。家庭菜園では、毎日水や りをして愛情を込めて野菜を育てています。 今年の夏は、プチトマトや枝豆、グリーンピー スなどをたくさん収穫しました。虫よけ効果 があるとされるマリーゴールドの花も植える など、ご利用者の経験を活かした工夫もして います。

→ 社協力レー食堂

社協とボランティア団体が 連携し、困難を抱える方々の 交流の場として毎月第4日曜 日に無償で開く「社協カレー 食堂」に、ご利用者が育てた 野菜を提供しています。











ごあいさつ =



の活動

はたらくデイ

地域の商店などから 受注した仕事をご利用者 自身が任意で取り組む。

プ演奏など。

鍛える 📤 音楽系プログラム 🥄

絵手紙、朗読、パワー カラオケ・音楽喫茶・オ アップ体操、座りなが カリナ演奏・ジャズ・ハー ら体操など。

♪ おいしいもん~

市内の店舗が販売す

🕦 頭&身体を 🗕

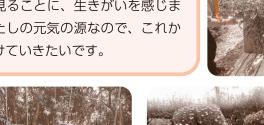
る菓子や食品を、ご利

用者の皆様で楽しむ。

来るデイ

ご利用者コメント Bさん・80代女性

土いじりが好きなので、毎回参加し ています。家でも野菜や花を育ててい ますが、ここでは仲間とワイワイと一 緒に取り組めて楽しいし、元気に育っ た姿を見ることに、生きがいを感じま す。わたしの元気の源なので、これか らも続けていきたいです。











作り づくり!

地域の活動団体紹介

向日市には、社協とともに安心で暮らしやすい地域づくりや仲間づくりに取り組むさまざまな団体があり ます。そのような団体の活動内容や魅力を知っていただくため、シリーズで紹介していきます。興味を持っ た方はぜひ地域での活動や行事に参加していただき、いまの生活をより豊かで快適にしていきましょう。



向日市三つ和母子会 会長堀秀子さん 設立年 1950年 登録人数 33世帯 活動目 毎週水曜日(こどもの居場所づくり事業) 活動時間 17:30~20:00(こどもの居場所づくり事業) 会費【母子会会費】年額 1,200円 【居場所参加費】 1人 1回100円(食費

問い合わせ先 090-7118-6522(堀さん)





○ どのようなことをしている団体ですか?

♠ ひとり親家庭の親子を対象に、こどもの居場所づく り事業、交流会や講習会の開催など、さまざな活動を 行っています。京都府母子寡婦福祉連合会が母体で、 今年で結成75周年を迎えます。日帰りバス旅行やフラ ワーアレンジメント体験、クリスマス会など、子ども から大人まで楽しめる企画もあり、同じような境遇の 人同士の意見交換や互いに助け合う機会とすることを 目指しています。

(○. 毎週実施の「こどもの居場所づくり事業」 は、どのような活動ですか?

♠ 第4向陽小学校近くの永坪会館をお借りして、ボラ ンティアの大学生が子どもに勉強を教えたり、一緒に 遊んだり、また母子会の会員さんが作ってくれた料理 をみんなで食べたりして交流しています。長年参加し ている家庭のお子さんが高校生になって今度は年下の

子の面倒を見てくれるようになったり、大学生が新し いボランティアを紹介してくれるなど、「人のつなが り」のおかげで続けられています。

O. 参加者にはどのような変化がみられますか?

♠ たとえば、「こどもの居場所づくり事業」に参加した 当初は大声を出すなど感情を抑えられなかった子ども が、周囲の大人や大学生たちと交流することで落ち着き を取り戻し、自立性や積極性が芽生えることがあります。 大学生は子ども一人ひとりに寄り添って、「この問題でき たね!」「すごいやん!」と声をかけて子どもの自信と個 性を伸ばしてくれるので、その成果だと感じています。 また、会員さんの手料理がおいしくて、苦手な野菜を食 べられるようになった、という事例もあります。一方の 親御さんも、少しずつ他の参加者と交流されるようにな りますね。子育てや生活の悩みがある際は、必要に応じ てスタッフが行政につなぐサポートも行っています。見 学も大歓迎ですので、ぜひ気軽にお問合せくださいね。





















使ってくれているのも嬉しいですね。

ご利用者コメント Aさん・80代女性

電動ドリルを扱うのは初めての経験。得意

な方に教えてもらいました。棚を作るときも

「ここ押さえててな」「力入れたらあかんで」

と、みんなの共同作業で仕上げることができ

て楽しかったです。実際に完成品をみんなが

































会長 和子